

東北生活文化大学動物実験に関する自己点検・評価報告書

(平成 26 年度)

平成 2 7 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部における動物実験に関する規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程が制定されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部における動物実験に関する規程 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部研究倫理・動物実験委員会規程 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部研究倫理・動物実験委員会委員名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会に関する規程が制定され、委員が委嘱されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

3. 動物実験の実施体制（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部における動物実験に関する規程 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部研究倫理・動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 2) の規程に実施体制が定められ、かつ同規程に動物実験計画書、動物実験計画変更申請書、

動物実験終了（中止）報告書の様式が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制（遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書（平成 26 年度実施分）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の審査結果による。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

5. 実験動物の飼養保管の体制（機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか？）

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 飼養保管施設は、設置されていない。
2) 自己点検の対象とした資料 なし
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。また、飼養保管施設が設置されていない場合は、その理由を明記する。） 動物実験は授業でのみ実施され、実験動物はその都度（当日）授業担当教員が搬入し、使用するため。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 研究倫理・動物実験委員会議事要録（平成 26 年 7 月 7 日開催、平成 26 年 11 月 5 日開催、平成 26 年 12 月 2 日開催、平成 27 年 2 月 24 日開催）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部研究倫理・動物実験委員会規程に基づき、適正に活動している。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

2. 動物実験の実施状況（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験計画承認通知書、動物実験終了報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2) の書類の提出及び承認通知書が交付され、適正に実施された。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況（当該実験が安全に実施されているか？）

1) 評価結果 □ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。 ■ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書（平成 26 年度実施分）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 物実験計画書の審査結果による。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

4. 実験動物の飼養保管状況（実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？）

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<input checked="" type="checkbox"/> 飼養保管は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
なし
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。また、飼養保管が行われていない場合は、その理由を明記する。）
動物実験は、授業の解剖実験でのみ実施され、実験当日に動物実験担当教員が自身の所属機関（他大学）から使用頭数を持参・搬入し、実験終了後殺処分するため、飼養保管しない。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

5. 施設等の維持管理の状況（機関内の飼養保管施設、実験室は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
学内規程及び実地調査
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
適正に整備されている。なお、本学は実験室のみ設置している。
4) 改善の方針、達成予定時期
特になし。

6. 教育訓練の実施状況（実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
平成 26 年度動物実験実施者の教育訓練（研修）実施状況（記録）・配付資料及び平成 26 年度の動物実験実施者名（動物実験計画書による。）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 平成 26 年度の動物実験実施者は、前年度と変更がなく、また、法令、基準及び学内規程の改正もなかったが、改めて学内規程・手続・注意事項等を確認したことは、評価できる。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

7. 自己点検・評価、情報公開（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 東北生活文化大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価が実施され、関係情報はホームページ上に公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 非該当

8. その他（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

年間に使用する実験動物は少数かつ単一種で、しかも限定された目的・日数の実験を実施しており、適正に管理・運営されている。

〔 本自己点検・評価報告書は、国立大学動物実験施設協議会及び公私立大学実験動物施設協議会の動物実験に関する相互検証プログラムに準じ実施・作成した。 〕